

平成17年度

## 病害虫発生予察特殊報 第4号

平成18年1月30日

茨城県病害虫防除所

Tel : 029-227-2445

### タバココナジラミ バイオタイプQの発生について

病害虫名 : タバココナジラミ バイオタイプQ *Bemisia tabaci* Q-biotype

発生作物 : トマト, ピーマン, ナス, キュウリ

#### 1. 発生確認の経過

- (1) 平成17年8月～10月に、トマト、ピーマン、ナス、キュウリ栽培圃場で、シルバーリーフコナジラミと思われる個体が発生し、一部では多発圃場も認められた。これらの作物では、従来シルバーリーフコナジラミの発生はほとんど認めなかったため、九州地方で発生が確認されているタバココナジラミ バイオタイプQ(以下、バイオタイプQと呼ぶ)であることが疑われた。
- (2) そこで、平成17年10月に県内13地点の野菜から採取したシルバーリーフコナジラミと思われる個体について、(独法)農業・生物系特定産業技術研究機構 近畿中国四国農業研究センターの三浦一芸氏にバイオタイプの同定を依頼した。その結果、供試した全ての個体で、本県では未発生のタバココナジラミ バイオタイプQであることが確認された(表1)。

#### 2. タバココナジラミのバイオタイプについて

バイオタイプとは、形態的な区別は難しいが、遺伝子型など生物学的な性質が異なる系統のことである。タバココナジラミには世界中に多くのバイオタイプが存在し、国内では在来系統(バイオタイプ不明)、バイオタイプB(シルバーリーフコナジラミ、以下、バイオタイプBと呼ぶ)及びバイオタイプQが確認されている。バイオタイプBは、1994年にシルバーリーフコナジラミと命名された。

#### 3. 形態及び生態等

##### (1) 形態

バイオタイプQは、バイオタイプB(シルバーリーフコナジラミ)との形態上の差異は、幼虫、成虫ともに認められておらず、形態による区別は困難である。

##### (2) 生態

バイオタイプQは、1996年にスペインで初めて確認され、イタリア、イスラエル、中国などで発生しているが、詳細な生態は不明である。

バイオタイプB(シルバーリーフコナジラミ)との交雑は、認められない(宮城県病害虫防除・肥料検査センター、未発表)とされる。

##### (3) 寄主植物

本県では、トマト、ピーマン、ナス、キュウリへの寄生を確認した。他県では、このほかにミニトマト、パプリカ、シシトウ(以上ナス科)、メロン(ウリ科)、茎ブロッコリー(アブラナ科)、アスパラガス(ユリ科)、オオバ(シソ科)、サツマイモ(ヒルガオ科)、ブーバルディア(アカネ科)で発生が確認されている。

#### 4. 被害の特徴

- (1) バイオタイプQは、バイオタイプB(シルバーリーフコナジラミ)と同様に以下のような被害を生じると考えられている。
  - ・ 成幼虫の吸汁により、生育が阻害される。
  - ・ 成幼虫の排泄物にすす症状を生じ、葉や果実の汚れや光合成阻害を引き起こす。
  - ・ トマトでは、トマト黄化葉巻ウイルス(TYLCV)を媒介する。

- (2) バイオタイプQは、バイオタイプB(シルバーリーフコナジラミ)の特徴であるカボチャ葉に白化症状を発現させる能力は、無いか低い(宮崎県病害虫防除・肥料検査センター、熊本県病害虫防除所、何れも未発表)とされる。

## 5. 防除対策

薬剤抵抗性が発達しているため、下記の物理的防除法や耕種的防除法を実施した上で、薬剤による防除を実施するのが望ましい。

- (1) 物理的防除：施設栽培では、0.4mm目合いの防虫ネットが侵入防止に有効である。また、光反射マルチ、UVカットフィルム、黄色粘着板などの物理的防除法を活用する。
- (2) 耕種的防除：栽培地及び周辺の雑草は、コナジラミ類の増殖源となるため除草を徹底する。また、栽培終了後は、ハウスを密閉して蒸し込み、死滅させる。
- (3) 薬剤防除：ピリプロキシフェン剤(ラノーテープ等)、一部のネオニコチノイド系剤、合成ピレスロイド系剤等に対する感受性が低いので注意する。バイオタイプQの発生が疑われる場合は、表2を参考に有効な薬剤に切り替える。防除の際は、薬剤抵抗性の発達を回避するため、同系統、同一薬剤の連続散布は行わない。なお、ボタニガードESは天敵微生物により、オレート液剤及び粘着くん液剤は物理的作用により防除するため、薬剤抵抗性は発達しにくいと考えられている。

表1 タバココナジラミのバイオタイプ検定結果

作物名	採取地	採取時期	バイオタイプ
ピーマン	神栖市①	平成17年10月	Q
	神栖市②	〃	Q
	神栖市③	〃	Q
	神栖市④	〃	Q
	神栖市⑤	〃	Q
	神栖市⑥	〃	Q
トマト	銚田市	〃	Q
	茨城町	〃	Q
キュウリ	水戸市	〃	Q
	常総市	〃	Q
	かすみがうら市	〃	Q
ナス	つくば市	〃	Q
	八千代町	〃	Q

※供試個体数は、各地点とも3個体。

表2 タバココナジラミ バイオタイプQに対して有効とされる主な薬剤(平成18年1月25日現在)

薬剤名	有効成分名	コナジラミ類またはタバココナジラミに対する登録の有無				
		トマト	ミニトマト	キュウリ	ナス	ピーマン
ベストガード水溶剤	ニテンピラム	○	○	○	○	
アルバリン顆粒水溶剤	ジノテフラン	○	○	○	○	
スタークル顆粒水溶剤						
サンマイトフロアブル	ピリダベン	○		○		○
ボタニガードES	ホーベリアバシアーナ	○(施設)	○(施設)	○(施設)		
オレート液剤	リン酸ナトリウム	○				
粘着くん液剤	ヒドロキシピロリドン	○				

※農薬を使用する際は、農薬ラベルに記載の使用基準、注意事項等を確認してください。